

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公開番号】特開2014-3671(P2014-3671A)

【公開日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-001

【出願番号】特願2013-167757(P2013-167757)

【国際特許分類】

H 04 W 36/02 (2009.01)

【F I】

H 04 W 36/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月8日(2014.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非アクセス層(NAS)メッセージを送信するように構成されたプロセッサを備えた無線送受信ユニット(WTRU)であって、

前記プロセッサは、ハンドオーバーメッセージを受信し、および、前記ハンドオーバーメッセージに応答して、前記NASメッセージの成功した配信が確認されないという条件で、無線リソース制御(RRC)レイヤーにより、上位レイヤーに、成功した配信が確認されなかつことを示すようにさらに構成され、

前記プロセッサは、ハンドオーバーが発生するという条件で、状態報告を、パケットデータ制御プロトコル(PDCP)レイヤーにより送るようにさらに構成されたことを特徴とするWTRU。

【請求項2】

無線リンク制御(RLC)レイヤーをさらに含み、前記RLCレイヤーは、上位レイヤーに、前記NASメッセージの成功した配信を示すことを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項3】

無線送受信ユニット(WTRU)におけるデータ配信通知の方法であって、前記方法は、

非アクセス層(NAS)メッセージを送信するステップと、

ハンドオーバーメッセージを受信し、および、前記ハンドオーバーメッセージに応答して、前記NASメッセージの成功した配信が確認されないという条件で、無線リソース制御(RRC)レイヤーにより、上位レイヤーに、成功した配信が確認されなかつことを示すステップと、

ハンドオーバーが発生するという条件で、状態報告をパケットデータ制御プロトコル(PDCP)レイヤーにより送るステップとを備えたことを特徴とする方法。

【請求項4】

無線リンク制御(RLC)レイヤーをさらに含み、前記RLCレイヤーは、上位レイヤーに、前記NASメッセージの成功した配信を示すことを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

非アクセス層（N A S）メッセージを送信するように構成された回路と、
ハンドオーバーメッセージを受信し、および、前記ハンドオーバーメッセージに応答して、前記N A Sメッセージの成功した配信が確認されないという条件で、無線リソース制御（R R C）レイヤーにより、上位レイヤーに、成功した配信が確認されなかったことを示すようにさらに構成された回路と、

ハンドオーバーが発生するという条件で、状態報告を、パケットデータ制御プロトコル（P D C P）レイヤーにより送るようにさらに構成された回路と
を備えたことを特徴とする集積回路。

【請求項 6】

無線リンク制御（R L C）レイヤーをさらに含み、前記R L Cレイヤーは、上位レイヤーに、前記N A Sメッセージの成功した配信を示すことを特徴とする請求項5に記載の集積回路。

【請求項 7】

前記状態報告は、シグナル無線ベアラ（S R B）を介して送られることを特徴とする請求項1に記載のW T R U。

【請求項 8】

前記状態報告は、シグナル無線ベアラ（S R B）を介して送られることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項 9】

前記状態報告は、シグナル無線ベアラ（S R B）を介して送られることを特徴とする請求項5に記載の集積回路。